

平成24年度
実施事業

事務事業名	市民生涯学習推進講座（市民マイプラン講座）
-------	-----------------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	1	生涯学習活動の促進
主要な施策	1	①ライフステージ（生涯学習各期）に対応した多様な学習機会の充実
事務事業番号	004	事業開始年度 平成 3 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

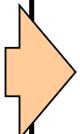
目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民が生涯を通じて、学習活動を行うことのできる環境を整えることで、学習成果の活用が図られる生涯学習社会の実現を目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<ul style="list-style-type: none"> 市内の団体、サークルが自主的に行う学習会を支援することにより、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の推進を図ることを目的とする。 10人以上のグループ、サークルが自主的に企画し、複数人規模で行う学習会等の活動に対し、講師料を支援する。 1回にあたり5,000円（1団体に年1回） 【H24年度利用団体】13団体 講座内容：調理実習、木のおもちゃ作り講座、新聞学習会など
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	支援により多種多様な学習会が活発に行われ、生涯学習の推進がより一層図られることを目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	市民マイプラン講座実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	100	65	150	150	150
事業費 合計			100	65	150	150	150

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 実施講座数	回	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	20	13			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
市民が創意工夫を行い、自発的に講座、勉強会などを開催しているが、利用団体の固定化・減少などがみられる。	 広報紙での呼びかけなどで、より広く市民に周知を行うことで、生涯学習を促す。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 学習成果の活用が図られる生涯学習社会実現のため、市民の生涯意欲を促す必要があることから、市が実施することは妥当である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 学習成果の活用が図られる生涯学習社会実現のため、市民の生涯意欲を促す必要がある。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 この助成を利用することで各団体の活動がより充実し、生涯学習の推進に寄与していることから効率性が高い事業と考える。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 市民が創意工夫を行い、自発的に講座、勉強会などを開催していることから、生涯学習社会に近づいていると考えられる。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	市民の自主的な学習(生涯学習)をサポートする事業であるため、今後においても推進していく必要がある。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)